鹿児島市多文化共生推進指針【やさしい日本語版】

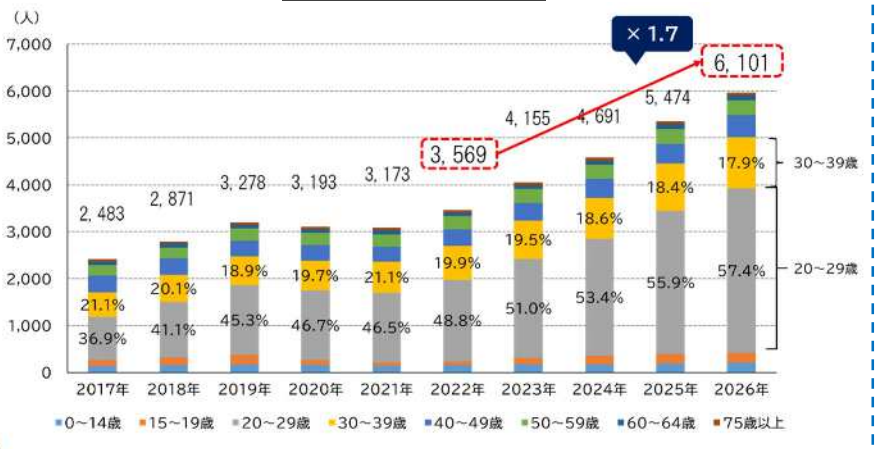
1．指針を新しくした理由

・鹿児島市に住む外国人は、2022年10月1日で、3,569人でしたが、それから4年が過ぎて、2026年10月1日で、6,101人だったので、約1.7倍になりました。

・これから鹿児島市に住む外国人は、もっと増えるでしょう。外国人も日本人もどちらも住みやすいまちにするために、「鹿児島市多文化共生推進指針」を新しくすることにしました。

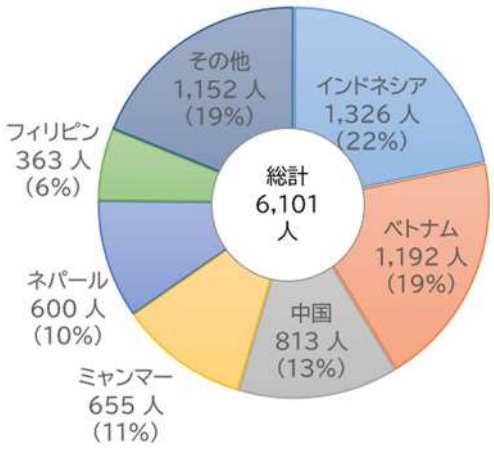
鹿児島市に住んでいる外国人の数

≪2017年～2026年≫



［出典］鹿児島市住民基本台帳より作成

≪国籍・地域別　2026年10月1日≫



［出典］鹿児島市住民基本台帳より作成

2．課題

・言葉や文化が違うので、外国人と日本人との間で情報が伝わらないことがあります。市役所からのお知らせに、いろいろな国の言葉や「やさしい日本語」をたくさん使ったり、わかりやすい方法で情報を伝えたりする必要があります。

・学校や病院などで、外国人がコミュニケーションで困らないようする方法を考える必要があります。

・外国人も日本人もお互いを大切にし、なかよく暮らせるまちをつくるために、外国人の人も、地域の人と一緒に活動できるようにする必要があります。

3．多文化共生でめざすこと

みんなが言葉や文化の違いを認めて助け合い、外国人も日本人も一緒になかよく暮らせるまちをめざします。

4.外国人も日本人も一緒になかよく暮らすためにやること

大事なこと	やること	やることの例
Ⅰ 外国人に情報を伝える	生活に必要な情報をいろいろな国の言葉や「やさしい日本語」で知らせます	・外国人のみなさんに、日本での生活のルールを教えます。 ・ごみを分ける方法や捨てる方法をいろいろな国の言葉で教えます。 ・日本語がどれくらい話せるかに合わせて、日本語を教えます。 ・日本語を勉強するためのウェブサイトや、日本語を勉強する場所を知らせます。 ・日本語を教えるボランティアを育てます。 ・生活で困ったときに、いろいろな国の言葉で相談できるようにします。
	外国人のみなさんが、日本語をもっと勉強しやすくなるようにします	
	外国人のみなさんが、生活で困ったときに安心して相談できるようにします	
Ⅱ 外国人が安心して生活する	外国籍の子どもが安心して教育を受けられるようにします	・子どもが小学校に入るためのお知らせをいろいろな国の言葉で伝えます。 ・小学校や中学校に行く子どもに、日本語を教えます。 ・子どもたちに、国籍や民族、文化の違いを認めてみんなで一緒になかよく暮らすことを教えます。
	地震や台風などの災害のときに、外国人のみなさんを守る方法を考えます 災害のときに助け合えるよう、外国人のみなさんも防災活動に参加できるようにします	・地震や台風などの災害のときに、どのような準備が必要か教えます。 ・地震や台風などの災害のときに、いろいろな国の言葉や「やさしい日本語」で情報を知らせます。 ・地震や台風などの災害のときに、外国人のみなさんを助けるボランティアを育てます。
	外国人のみなさんが、健康で安心して生活できるようにします	・外国語が使える病院などを教えます。
	外国人のみなさんが、安心して子どもを育てられるようにします	・安心して子どもを産んだり育てたりするために大事なことをいろいろな国の言葉で知らせます。
	外国人のみなさんが、住む家を探すことを助けます	・住む家のことで困ったときに相談できる場所を知らせます。 ・市役所が貸す家（市営住宅）に住む方法を知らせます。
	外国人のみなさんが、仕事を探すことを助けます 外国人のみなさんが、安心して働けるようにします 留学生のみなさんが、卒業しても鹿児島市で働けるようにします	・仕事を探すときに困らないように、いろいろな情報を知らせます。 ・外国人のみなさんが安心して働くために必要なことを、市役所と会社などが一緒に考えます。 ・留学生が働く会社を決めるときのために、会社を見学できるようにします。
Ⅲ 外国人も日本人も一緒になかよく暮らせるまちをつくる 住んでいるまちで活躍する外国人を増やす	外国人も日本人も一緒になかよく暮らす社会のことを、みんなに伝えます 自分と違う文化を持つ人と友達になれる場所をもっとつくります	・鹿児島市に住んでいる人に、国籍や民族、文化の違いを認めて、外国人も日本人も助け合うことの大切さを伝えます。 ・市役所の人たちが、「やさしい日本語」などをもっと勉強します。 ・自分と違う文化の人たちとなかよくなれるようなイベントをします。
	外国人のみなさんが、住んでいるまちの活動にもっと参加できるようにします 外国人のみなさんが、地域の人たちとつながりやすくなるように助けます	・外国人と日本人がなかよくなれるようなイベントをします。 ・外国人のみなさんとの話し合いをします。 ・外国人のみなさんが作るイベントのサポートをします。
Ⅳ 外国人も日本人も一緒になかよく暮らす方法を、みんなで協力して考える	外国人のみなさんが安心して鹿児島市で生活できるように、市役所の中や、国、鹿児島県、いろいろな団体と協力します	・市役所の中でよく話し合います。 ・国や鹿児島県庁、会社など、市役所以外の人たちともよく話し合います。